①城下町散策コース 約4.4 km

栄生駅から 約 3.8 km

浅間町

幅下小

慶栄寺

56

00

8

910

家住宅



徳川家康が名古屋台地に大坂方に対し城を築 き、いわゆる清須越により、城下町を造成しま した。藩政時代に上宿・幅下と呼ばれたこの一 帯は本来の城下町として、旧町名も由緒ある町 名が多く残されていました。藩の御用達商人も多 く住み、堀川周辺には藩や商家の土蔵が立ち並 び江戸時代の城下町として当時の賑わいと繁栄 の跡がしのばれるところです。

⑪堀川・五条橋

ほりかわ・ごじょうばし

那古野小

専修寺名古屋別院

子守地蔵尊

屋根神



慶長15年(1610)、名古屋 城築城とともに開削され た堀川は、街道とともに 物流を担う重要な役割を 果たしました。五条橋は 清須の五条川にかかって いたものを、清須越の際、 橋材とともにその名も移 し、本物の擬宝珠は名古 屋城天守閣に保存されて います。

浅間神社

① 鴫塚

しぎづか 別名: 刈跡塚 (かりあとづか)



法蔵寺の境内にあ り、松尾芭蕉の「刈 跡や早稲かたかたの 鴫の声」の句が刻ま れています。名古屋 市指定文化財。

地下鉄

丸の内

②菊水観音

きくすいかんのん

江戸時代の創立。昔この辺りにきれ いな水の湧く泉があり、「菊(水)の井」 と呼ばれていたことが、菊井町の町 名の由来といわれています。

③津島神社

つしまじんじゃ

鐘と太鼓を打ち鳴ら して町内を練り歩く 石取まつりが毎年5 月に行われます。

④ 多賀宮

たがぐう

いざなぎのみこと いざなみのみこと 伊邪那岐命、伊邪那美命を祀る、 延命と縁結びの神社。神社には 珍しくおもかる石があります。



⑤圓頓寺

えんどんじ



承 応 3 年 (1654) 創建、 享 保 9 年 (1724) に今の 地に移りまし た。本堂は名 古屋城天守閣

使用の余材を拝領して建てたといわれ、 本堂脇には藩祖義直の側室が寄進した 鬼子母神像が安置されています。

6 慶栄寺

けいえいじ



境内にある太 子堂は奈良 の元興寺五 重塔の古材 で造られ、聖 徳太子像が 祀られていま

す。松涛庵は足利義政が銀閣寺を建てた とき、茶室として造らせたものを京都東 山より移築したといわれています。

⑨浅間神社

せんげんじんじゃ



正保 4 年(1647)に現 在地へ勧請。境内には 300年以上の樹齢を誇 るケヤキがあります。

8屋根神

やねがみ



屋根の上、軒先に祀る 名古屋独特の神さま。 美濃路コースでも見か けることができます。

⑦四間道

しけみち



堀川に沿って土蔵が立ち並ぶ地区。 元禄13年(1700)の大火の後、堀川 端の問屋筋の裏を四間(約7m)に広 げたことが語源ともいわれていま す。名古屋市町並み保存地区。

☆には、案内看板があります。

慶長19年(1614)に移住した清

須越の商家。堀川沿いに住家が

あったため、「川伊藤」と呼ば

れました。住宅と土蔵は愛知県

指定文化財。※外観のみ見学可

⑩ 伊藤家住宅

いとうけじゅうたく